

科目名	ジャズハーモニーⅦ・Ⅷ	形態	演習	開講期	春・秋
担当教員	水野 修平	単位	1	年次	4

＝授業科目の目標＝

ジャズハーモニー（Ⅰ～Ⅵ）で学んだことを確実なものにしつつ、追加、補足事項も踏まえて、各自の専門楽器にて実践に結びつけられるようにする。

＝履修の条件と学習の方法＝

ジャズ・ポピュラーコースの学生（4年生）はジャズハーモニー（Ⅰ～Ⅵ）を修得していること。

ジャズ・ポピュラーコースの学生でない場合は相応の内容を理解していること。

＝授業内容＝

題材として様々な曲を用いて、アレンジ、リハーモナイズを参考に、してハーモニーの可能性を探る。強いてはより良いサウンドを見つけ、総合的に音楽を捉えることが出来る力を身につける。

参考文献(ジャズセオリー ATN 出版)(ジャズピアノブック ATN 出版)などを用いて進めていきます。

春学期

- 1回 ガイダンス：シラバス
(講義の目標や内容)の確認。編曲法。
- 2回 基本的なりハーモナイゼーション1
- 3回 基本的なりハーモナイゼーション2
- 4回 基本的なりハーモナイゼーション3
- 5回 基本的なりハーモナイゼーション4
- 6回 基本的なりハーモナイゼーション5
- 7回 基本的なりハーモナイゼーション5

- 8回 高度なりハーモナイゼーション1
- 9回 高度なりハーモナイゼーション2
- 10回 高度なりハーモナイゼーション3
- 11回 高度なりハーモナイゼーション4
- 12回 高度なりハーモナイゼーション5
- 13回 高度なりハーモナイゼーション6
- 14回 高度なりハーモナイゼーション7
- 15回 高度なりハーモナイゼーション8

秋学期

- 1回 スケールの理論 1
- 2回 スケールの理論 2
- 3回 スケールの理論 3
- 4回 トライトーン・サブスティテューション1
- 5回 トライトーン・サブスティテューション2
- 6回 トライトーン・サブスティテューション3

- 7回 スタンダード曲を用いたリハーモナイゼーション1
- 8回 スタンダード曲を用いたリハーモナイゼーション2
- 9回 スタンダード曲を用いたリハーモナイゼーション3
- 10回 ジャズオリジナル曲を用いたリハーモナイゼーション1
- 11回 ジャズオリジナル曲を用いたリハーモナイゼーション2
- 12回 ジャズオリジナル曲を用いたリハーモナイゼーション3
- 13回 個々のオリジナル曲を用いたリハーモナイゼーション1
- 14回 個々のオリジナル曲を用いたリハーモナイゼーション2
- 15回 まとめ

＝成績評価の方法と評価の基準＝

レポート提出、小テストおよび出席数（率）で評価します。
出席、テスト点数、授業内での理解度に問題が無ければAを。以下、それに応じてB～。

＝テキスト（必携）＝

特になし